

～ 安全な車間距離と正しいシートベルトの着用方法 ～

命を守る運転をしていますか？

車は急に止まれません！

前の車が急に止まっても、追突しないような安全な速度と車間距離をとらなければなりません。

運転者が疲れているときは、危険を認知して判断するまで時間がかかるので、空走距離は長くなります。
乗車人数が多いときや重い荷物を乗せているときは、制動距離が長くなります。



雨にぬれた道路を走る場合は、制動距離が長くなります。



安全な車間距離とは？

追突事故を回避できる車間距離の目安は、**3秒以上**の車間距離です。



目測で距離を測り、適正な車間距離を保つのは難しい…



前車との時間差によって適正車間を保つ方が実践的！

たとえば、標識などの適当な目印を決め、前の車がその目印を通過してから自分の車がその目印に至るまでの時間が3秒あれば、十分な車間距離を保っているということになります。



乾燥舗装路面の停止するまでの距離を速度別に見てみましょう。

速度別制動停止距離

速度	空走距離 (m)	制動距離 (m)	停止距離 (m)
30km	8	6	14m
40km	11	11	22m
50km	14	18	32m
60km	17	27	44m

※空走距離→運転者が危険を感じてからブレーキを踏み、ブレーキが実際にきき始めるまでの距離
制動距離→ブレーキがきき始めてから車が停止するまでの距離
停止距離→空走距離と制動距離を合わせた距離

シートベルトの着用

シートベルトは、交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減します。

シートベルトを正しく着用しましょう。



福祉車両で車椅子の利用者を送迎する場合、車椅子の固定方法やシートベルトの着用方法は、自動車や車椅子の種類により異なる場合があります。取扱説明書等で正しい方法を確認してください。

肩ベルトは肩にかかるように
肩ベルトと腰ベルトで体を固定

指定場所にフック掛けて車椅子を固定

